

国立大学イノベーション創出環境強化事業

(内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当))

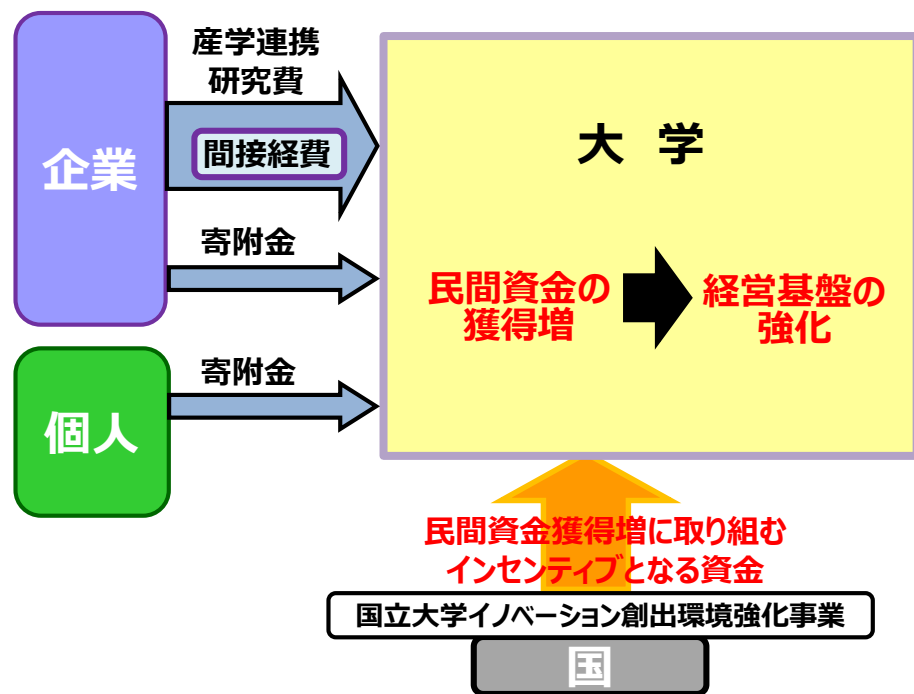
3年度予算案 20億円(2年度当初予算額 19.5億円)(PRISMの内数)

背景・目的

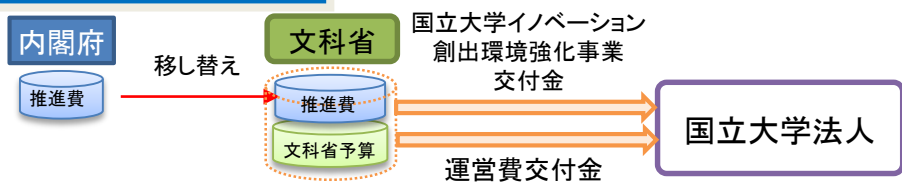
- 国立大学による民間資金獲得のための取組を推進することにより、官民の研究開発投資を誘発。
- 国立大学が企業との共同研究における適切な間接経費を確保するとともに、民間資金獲得額を増加させ、イノベーションの創出に必要な財源の多様化を進めるための経営基盤を強化。

事業概要

- 外部資金獲得に関する実績データにより対象となる大学を絞り込んだ上で公募。
- 申請のあった大学については、「今後の民間資金獲得額増加のための計画」を中心に審査会でヒアリングを実施。
- 採択された大学にはアワードとして**原則2年間、自由に使える交付金**を支給。(2年目に計画の進捗が特に顕著な場合に限り3年目にも配分の可能性がある。)
- 採択の基準となる外部資金獲得実績のデータとして以下を採用。
 - ・ 組織としての確実な財源獲得の努力が反映される指標として、共同研究における間接経費の割合やその伸び
 - ・ 研究大学以外については、大学収入における外部資金収入(寄付金、受託研究費、共同研究費等)の割合やその伸びも考慮。



資金の流れ



期待される効果

- 民間から国立大学へのイノベーション創出につながる投資の拡大。
- 間接経費割合や外部資金割合について、採択大学での増加を通じて国立大学全体を底上げする相場観の形成。